

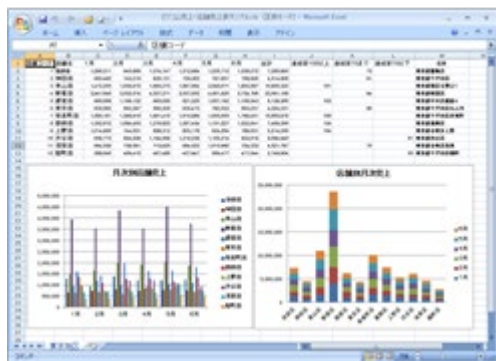
スーパーマップル・デジタル

Excelのデータ表を地図に表示する方法

Excelのデータ表を地図に表示する方法

A: Excelデータを準備します

- ① Excelで分析されたデータの表やグラフをスーパーマップル・デジタルの「カスタム情報」に格納する準備をします。



★ Excelデータの表示は、保存された時の大きさで表示されますので、保存時に大きさを設定しておく便利です。

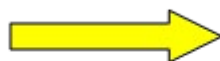
📌 ポイント：事前に「Excelデータ」を75%表示程度に設定すると、格納後、地図に表示しやすくなります。

B：地図に表示するには、カスタム情報内に格納します。 (ウィザードでの手順)

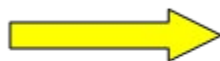
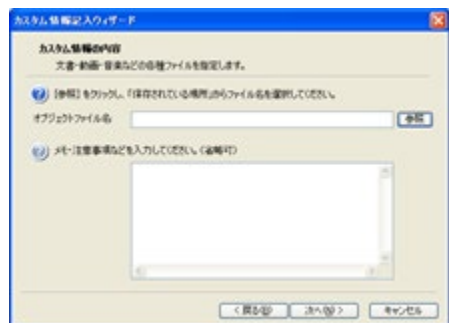
- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、「情報記入」の「テキスト」をクリックし、マウスが地図上では「+abc」に変わりますので、任意の位置でクリックすると、操作手順のウィザードが表示されます。



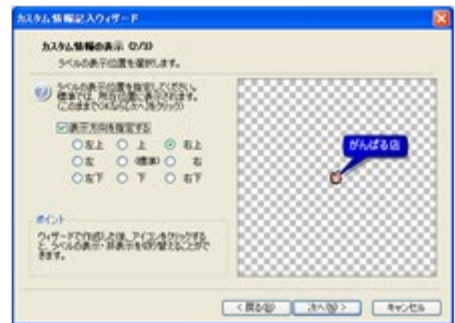
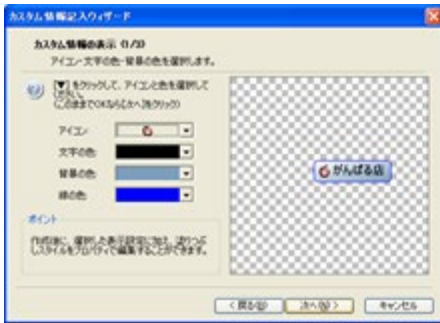
- ② カスタム情報に「Excelデータ」を格納するために、「Word,Excel・・・」を選択し、ウィザードに従って操作します。



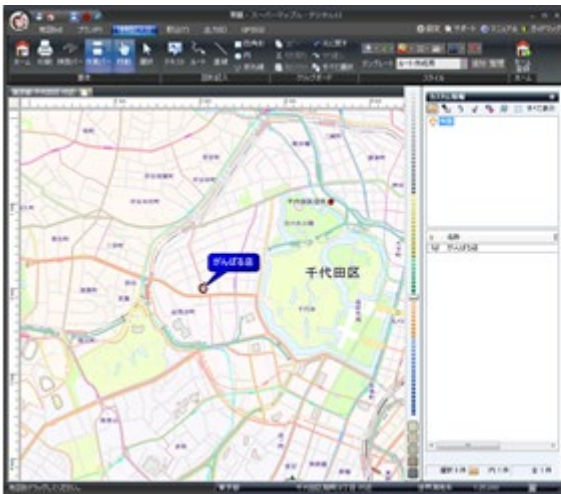
- ③ この画面の「参照」をクリックし、「Excelデータ」を選択し、カスタム情報内に格納します。



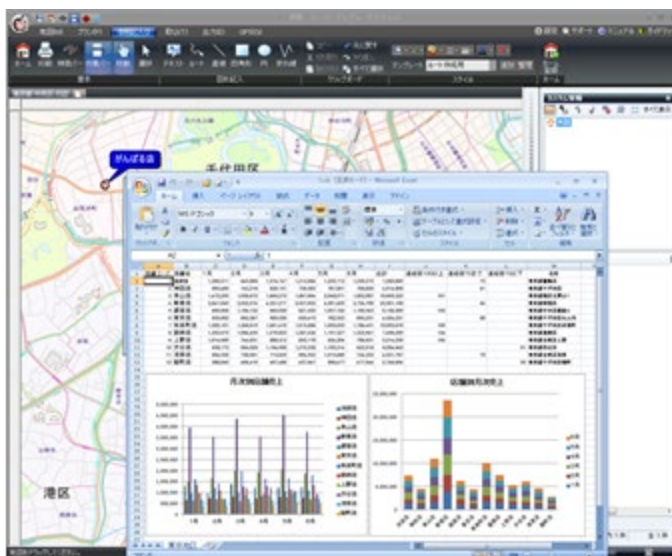
④ 地図に表示する「名称」の「色」や「表示方向」を設定し、ウィザードに従い完了します



⑤ 地図に「名称」が表示されますので、表示された「名称」をクリックすると、「カスタム情報プレビュー」が表示され「Excelファイル」が「オブジェクト」に格納されていることが、確認できます。

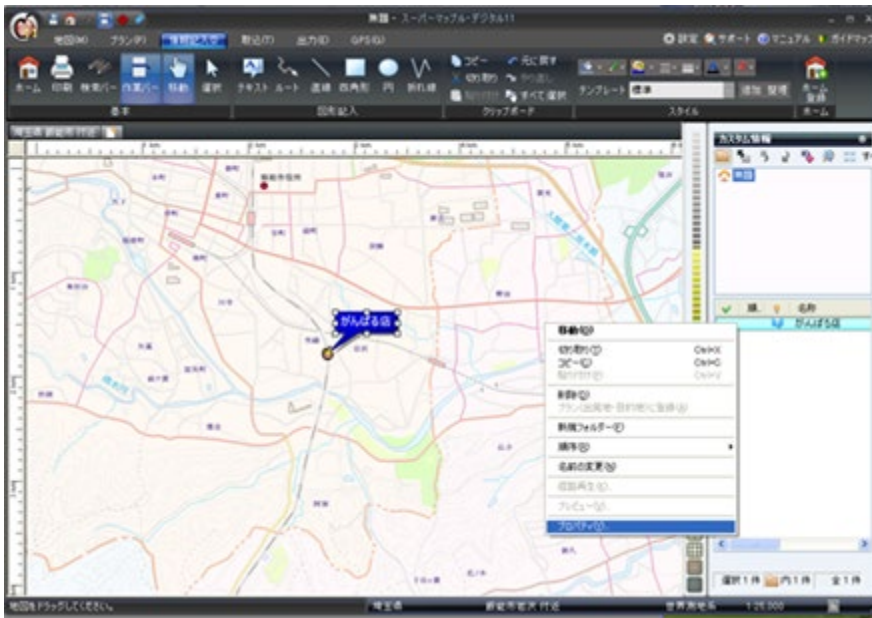


⑥ 「xls又はxlsx」ファイルをクリックし、「開く」をクリックすると、格納された表やグラフが表示できます



C : すでに登録されている「カスタム情報」にExcelデータを記入することができます

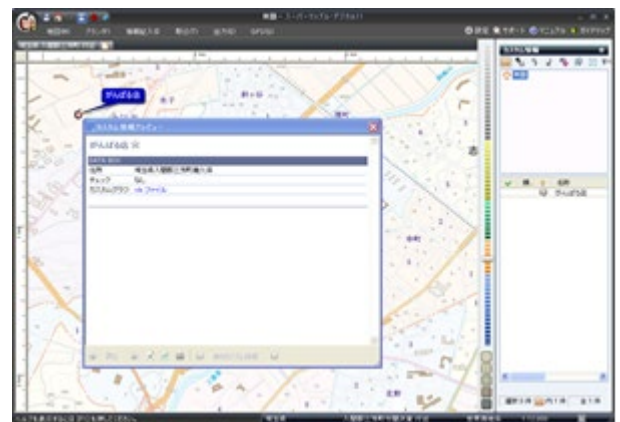
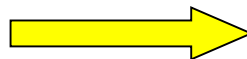
①「カスタム情報」欄の名称を右クリックし、「プロパティ」を選択します



②「オブジェクト」タブをクリックし、左下の「追加」をクリックし、項目名の記入と「参照」から「ファイル名」を選択します。



③「オブジェクト」に追加、格納されます。地図上で確認してください。
「オブジェクト」の「xls又はxlsx」ファイルをクリックすると、表示されます。



D: 他の機能と共存させる。

- ・【グラフ表示機能】と共存させると、下図のような表示も可能です

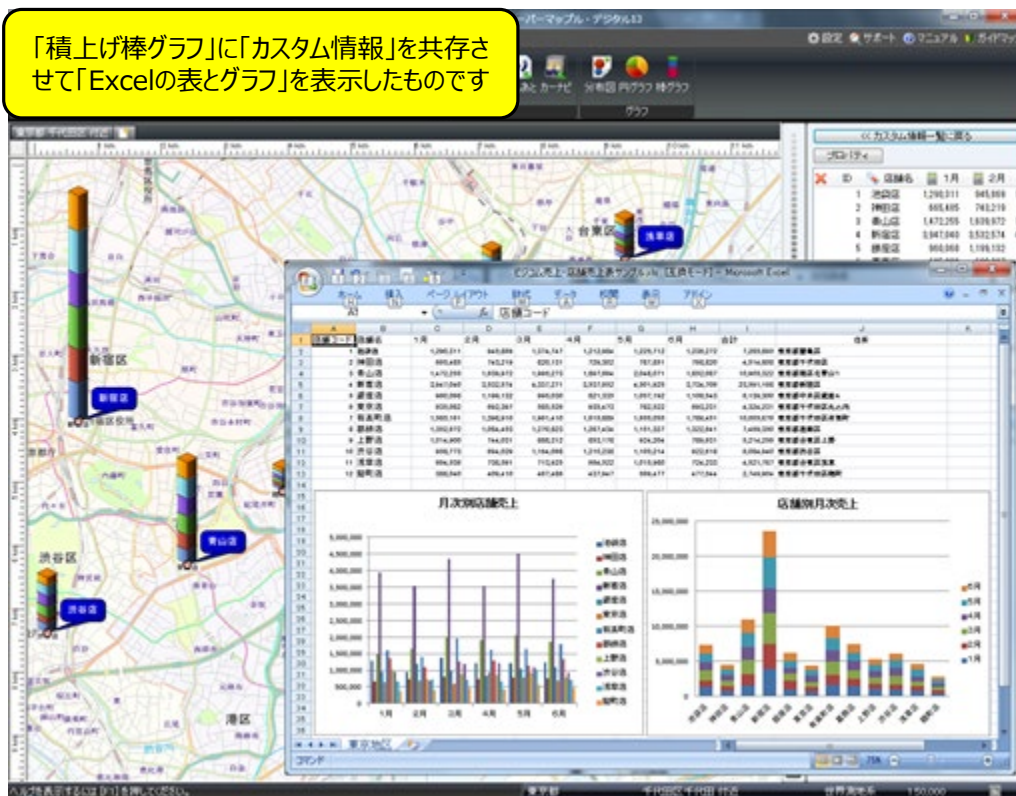


グラフ表示方法は「ガイドマップ」から「ビジネス活用」の [簡易マニュアル](#) から

「[各種グラフを作成する方法](#)」を参照してください。

または、[使いこなしガイドブック](#) を参照してください

「積上げ棒グラフ」に「カスタム情報」を共存させて「Excelの表とグラフ」を表示したものです



注意事項
製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

2020年5月末日現在